

ガバナー月信

Vol.1

2002.7.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011群馬県桐生市相生町 5 丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yano.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨



7月は識字率向上月間です

CONTENTS

R I 会長メッセージ	2
ガバナーメッセージ	6
ガバナー 就任挨拶	8
清直前ガバナーご苦労様でした	13
清直前ガバナーの言葉	13
2002~03年度 会長賞	14
識字率向上月間に寄せて	15
こども奉仕委員会設置と活動について	16
委員会報告・ガバナー事務所より等	19
送金カレンダー	21
2002~03年度 組織図	22
ガバナー公式訪問、主要行事一覧	23
2840地区ロータリークラブ一覧	24
出席報告、7月の予定	26

矢野
亨
ガバ
ナー
月信



R I 会長メッセージ



慈愛の種を播きましょう

2002 - 03年度

国際ロータリー会長

ピチャイ・ラタクル

親愛なる同僚のロータリアンの皆さん：

私たち一人一人にとって、ロータリーは皆それぞれ違った特別の意味を持っています。クラブ内における温かい友情を大切に育てる人が居るでしょう。

一方また、奉仕と援助を必要としている人々に尽くす機会を、とりわけ高く評価する人も居るでしょう。いずれにせよ、大部分の人々は、世界中隅から隅まで奉仕という点で極めて効率よく私たちを結びつけている国際精神に、ロータリーの価値を見出しているのです。

まさしくただ今現在、ロータリーの名において、数え切れないほど沢山の活動が行われています。ただ、たとえ私たちが何をするにしても、その中には終始変わらぬ一つの基本があります。

それは、ロータリーにおける最善の親睦、奉仕は、常に愛の真心から出たものだ、ということです。ひとたび慈愛の心が私たちの行動に吹き込まれると、私たちは時間や

金の犠牲などに躊躇してはおられません。私たちはより多くのことを成し、より多くのものを与えようと奮い立たされます。まさに慈愛こそ、すべてロータリーの仕事を背後から支えて、これを最善のものにする原動力なのです。

かつてマザー・テレサがこう言いました：「どれだけ沢山の物を与えるかではない、大切なのはどれだけ満ち溢れる慈愛をこめて与えるかです。」と。私たちの行動が慈愛に発するものであるなら、それは正真正銘一層効果的なものとなり、奉仕を受ける人々の心情に深く深く沁み透るでしょう。

私たちロータリアンは、自分自身十分に慈愛の心を備えているのですが、私たちの前途に横たわる壮大な目標を達成するためには、私たちの信条と負託を共有してくれる人々がもっと沢山必要なのです。私たちの組織の永続を確実なものにする最善の方途は、出来るだけ沢山の人々の心に慈愛の種を播くことです。

されば2002-03年度、全ロータリアンに向かって私が強くお願ひしたいのは、正にこの一語です：慈愛の種を播きましょう - あなたのクラブに、あなたの職場に、あなたの地域社会に、そして世界中のありとあらゆる場所に。

ロータリーは慈愛の種を播く 無数の道を示す

国際ロータリーとロータリー財団のプログラムによって - 私はあなたがた自身のインスピレーションと自発的創意で、上意下達ではなく、草の根レベルから立ち上って動くことを強く求めるのですが - 私たちの専門能力を最も必要としている所に、私たちは一役買って出ることが出来るのです；即ち若者たちが現在の困難を乗り越えて、明日の指導者になれる様に応援する；国境を越えた奉仕の協力体制を発展させる；またポリオ撲滅に関する私たちの誓約を完遂する、など……

私たちのクラブや地域内でも、私たちは身辺地帯の改善から、更に広い地域社会に対する力強い貢献に到るまで、さまざまの方策があります。

私たちは新しいプログラムやプロジェクトを作る必要はありません；私たちは現在あるものに一層多くの関わりを持ち、直接自分で手をつけることに、今すぐ取りかかれるのです。奉仕というものが愛の真心から発し、自分の経験に裏打ちさ

れている限り、私たちは単なる小切手を書くのではありません；私たちは自分の人生にロータリーを書き込むのです。

私の願いは、2002-03年度、 真実ロータリー奉仕の喜びをすべて のロータリアンに直接味わって頂く こと

その喜びは、あなたの指導に従ってひたすら読み方を覚えようと、勉強に熱中している子供から来るかも知れません。それはまた、あなたの地区が開発した小規模融資計画のお陰で、子供を養える様になつた幸せな母親を目のあたりにした時に得られるものかも知れません。あるいはまた、あなたのクラブが先鞭をつけた職業訓練プロジェクトによって、生産的な仕事に就くことが出来た男女の誇らしげな顔を見て覚える喜びかも知れません。

奉仕の喜びの極致を実感する道は、それこそ様々でしょうが、何れにせよ、それは私たちの時間と能力を全面的に捧げなければなりません。ロータリーにこんな投資をしても、あなたは決して後悔する破目にはならぬ、と私は保証します。ひとたびあなたが、他の人々の生活を変え、彼等に希望をもたらして絶望の淵から救い出し、冷淡な風潮に慈愛を吹き込む、という機会を経験すれば、あなたは自分がロータリアンであることの意義を十分に感得するでしょう。



2002-03年、ロータリーを簡素に、と私はロータリアンを激励する

実際問題として、ロータリーの奉仕の理想は、その手段、方法の多様性によって、どの様にも解釈出来ます。それをこれ以上複雑にする必要はありません。ロータリーは他人に対する奉仕を通じての親睦という機会を提供するものです。この心に訴える単純な呼びかけが、男女を動かし奮い立たせるのです。

慈愛の種を播けば、その幾つかは殆どすぐに芽を出し始めるでしょう。そして野の花の様に、自分で種を飛ばし、大気の流れに乗って慈愛を播き広めることができます。

また残りの種は、もう少し育成に時間がかかるでしょう。ただしこの種を慈愛献身のロータリー的行動に浸しこめば、必ず人道的奉仕という大豊作の収穫が得られる、という事を私は保証します。

何処に慈愛の種を播くのか？どうすれば最も効果的か？

機会はあなたの周り、至る所にあります。

まず最初に、自分のクラブに 慈愛の種を播く

良いクラブの親睦とは、会員同士が相手

に対して示し合う慈愛と関心の上に成立つものです。あなたは同僚ロータリアンについてどれだけ良く知っていますか？もっと良く知ろうと努めてみましょう。相手の家族のこと、仕事のこと、また相手の希望や夢についてもっと学びましょう。あなたのクラブに暖かい歓待の雰囲気があれば、専門職や管理職の新人を引き入れ、今の会員達を巻き込んで、これを活性化することが出来ます。強力なクラブ奉仕というロータリーの基本原則を復活させることによって、ロータリーの原点に立ちもどりましょう。

自分の職場に慈愛の種を播く

今日のグローバル化した経済取引の市場は度外れて没人間的なものになっています。人々は協力し加勢してくれる専門的人脈との結びつきを必要としているのです。- 言うまでもなくそれこそロータリーの理想に対する品質保証でもあります。もしあなたが慈愛の種を社員、顧客、競争相手に播けば、破壊的過当競争を終結させ、ロータリーが信奉する高度の道徳的水準を維持することが出来るでしょう。

地域社会に慈愛の種を播く

これは、クラブ会員の知識、技能、個人的興味を十分に活用し、野心的な奉仕のプロジェクトを開発することによって出来るでしょう。その様な意義深いプロジェクトを通じてロータリアンは、クラブ活動に慈

愛という個人的スタンプを押すことが出来ます。そしてまた、それがロータリー奉仕活動の価値を完全に発揮することにもなります。私たちの播いた種が私たちの地域社会で育ち始めるにつれて、他の地域社会も私たちの尽力に与りたいと願ってくるでしょう - そしてロータリーもまた成長してゆくのです。

そして最後に、世界に 慈愛の種を播く

慈愛無くしてこの苦難に満ちた世界に平和をもたらすことなど望むべくもありません。ロータリアンとして私たちは、国際親善奨学生、研究グループ交換チーム、ロータリー・ボランティアを通じて慈愛の種を播くことが出来ます。私たちはまた、飢えた人々に食を与え、病める人を治療し、ホームレスに簡易宿泊施設を与えるなどして、海を越え国境を越えて慈愛を注ぐことが出来ます。ロータリーを通じて実現される清潔な飲み水、身近な健康管理、世界の子供達に対する教育、そして全人類に対する基本的生存条件の充足ということ、その中に私たちの慈愛は自ら光り輝くのです。

ピチャイ・ラタクル氏 略歴

タイ、バンコク、トンブリ・ロータリー・クラブ
2001 - 02年度 国際ロータリー会長エレクト
1993 - 94年度 R I 国際大会委員会委員長
1990 - 92年度 国際ロータリー理事
1991 - 92年度 理事会、執行委員会委員長
1985 - 86年度 ロータリー財団管理委員

ピチャイ・ラタクル氏は、バンコクと香港で教育を受け、バンコクのラムカムヘーン大学ならびにカリフォルニア州のケンジントン大学で政治学の名誉博士号を取得しました。

1969年よりタイ議会の議員として9回の任期を務め、民主党の指導者、外務大臣、副首相、下院の議長および委員長を歴任しています。また、国連に多数のタイ代表団を送り込んでいます。ラタクル氏は、国際協力タイ親善代表です。ラタクル氏は、ボイスカウトタイ連盟の名誉副会長でもあります。ラタクル氏は、対汚職委員会、麻薬取締委員会、全国監査委員会、および第13回アジア・オリンピック組織委員会の委員長を務めました。ラタクル氏は、これまでにタイの国王から最高位の栄誉、日本の天皇、フィリピンの、韓国、オーストリア、およびニカラグアの大統領から数々の勲章を受章しています。

1958年にトンブリ・ロータリー・クラブの創立会員になって以来、地区ガバナー、国際協議会討論リーダー、委員会委員ならびに委員長、財団管理委員、国際ロータリーの執行委員会委員長を務めてきました。ラタクル氏は、国際的な人道的および教育的プログラムの支援を称えられ、ロータリー財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞しています。現在は、外交関係グループの委員長で、2002 - 2003年度に国際ロータリーの会長を務めます。

ラタクル氏とラタクル夫人には、3人の子供と5人の孫がいます。氏の楽しみは、園芸、ゴルフ、読書です。



ガバナーメッセージ



慈愛の心で行動を

2002-2003年度

2840地区 ガバナー

矢野 亨

2002~2003年のR.I.のテーマは'慈愛の種を播きましょう"であります。これは大変判り易く、どちらかと言えば東洋的言葉であります。

ラタクルR.I.会長は仏教国タイの出身だけにお話の前後には必ず両手を合わせて合掌をされます。これはラタクル会長の人柄を示すものでもあり、我々日本人には大変親近感を抱かせます。

ラタクル会長は、満ち溢れる慈愛の心を込めて奉仕の種を播きましょう。それはトップダウンすなわち命令され、人からすすめられるものでもなく、むしろ草の根的な言わばボトムアップとも言えるものであって、個人個人がもう一度ロータリーの原点に立ち帰って自らを見つめ直しましょう。この慈愛の種は自らの心の中に育て、次に自らの周辺すなわち我々の家族、隣人、友人に拡げましょう。

題字に寄せて

矢野 亨

編集氏から月信の表紙に毎号墨書の指示があり、やむを得ずお受けしました。本号の題字は、「播慈愛之種」と書くべきかと思いますが、「慈愛」を強調して、四字としました。

ロータリークラブ運営で、もしマンネリ化があるとするならば、親睦の中に改めて慈愛の種を播くことを心掛けましょう。自らの日々の職業について、常にこの慈愛の種を播くとき素晴らしい職業奉仕となるでしょう。我々の住む地域社会に播かれた慈愛の種は地域に期待される社会奉仕となり、更に発展して地球規模に播かれるなら立派な国際奉仕となるでしょうと言っています。

更にこれからロータリーの発展を考えたとき、次の世代の育成を考えねばなりません。慈愛の種は新世代のあらゆる年齢層に播かれるべきであります。

欧米のキリスト教国では、その精神のバックボーンとして、キリストの山上の垂訓と言われる黄金律(golden rule)があります。これは「すべての人に貢いたいと思うことは人にもまたして上げなさい」(マタイ伝7:12)

これこそ積極的な奉仕の理念であります。一方、我が国では論語の「おのれの欲せざることを人に施すことなかれ」があり

ます。これは黄金律と表裏の思想ですが、奉仕への積極性が少ないと言われております。

又、欧米人は日曜日になると家族と教会へ出かけ、そこでお祈りと幾らかの献金をして来るという習慣がありますが、日本人にはそのような習慣はあまりみられません。

日本人と欧米人の間には日常生活の中で、奉仕に対する意識と行動パターンにおいて残念ながら温度差のあることを認めざるを得ません。

我々はラタクル会長の「願い」をもう一度深く噛みしめましょう。

慈愛の種を自分自身の心に、隣人に、地域社会に更に地球上に播きましょう。

それがやがて素晴らしい大輪の花を咲かせてくれることを期待しようではありますか。



ガバナー 矢野 亨 略歴

氏名 矢野 亨 (やの とある)
桐生西ロータリークラブ
E-MAIL yano.gov@kibounoie.or.jp

学歴 昭和28年3月 前橋医科大学卒業
昭和34年2月 医学博士

職業・経歴

医療法人矢野会 矢野医院 理事長
社会福祉法人 希望の家療育病院
理事長
財団法人 日本学校保健会会長
社団法人 日本重症児福祉協会会長
川崎医療福祉大学客員教授

賞罰

1988年11月 藍綬褒章 (厚生省)
1996年11月 日本医師会最高優功賞
1999年11月 勲三等瑞宝章

ロータリー歴

1967年1月 桐生南ロータリークラブ入会
1971年11月 桐生西ロータリークラブへ
チャーターメンバーとして移籍
1974～1975年 会長
1975～1976年 インターアクト委員長
1978～1978年 会員選考委員長
1980～1981年 健康管理委員長
1978年10月 ポールハリスフェロー
1989年4月 米山功労者
1997年6月 桐生赤城ロータリークラブ
特別代表
2000年12月
ペネファクター・マルチプルフェロー



2002～2003年度

第2840地区 ガバナー 就任挨拶

矢 野 亨

7月から正式に 2840地区ガバナーに就任致しました。

過去1年間ガバナーエレクトとして、地区の会員の方々からも、大変多くの事を勉強させていただきました。

当地区は開口年度に2560地区と分割されましたことや、更に、本年にはRIの規定変更もありましたが、清 章司直前ガバナーにおかれましては見事にそれらを処理されると共に、新クラブの設立、女性会員の増加、教育問題への新しい展開などを始めとして数々の実績を残されました。改めて厚く感謝と御礼を申し上げたいと思います。

私の年度は、清年度の成果を引き継ぐと共に、ラタクルRI会長の素晴らしいテーマに則って運営して参りたいと思いますので、会員皆様の御協力、御支援を心からお願ひ申し上げます。

2002-2003年度 2840地区 強調事項

- 1) 慈愛をもって意義あるクラブライフを。財団・米山への協力
- 2) 会員増強と退会防止。入会式を重視し新会員に十分な情報を
- 3) 新クラブの結成と女性会員。
- 4) 教育への取り組みと新世代委員会の充実。"こども奉仕委員会"の新設

以下の文は、去る3月16日 PETSの折、会長エレクトさん方にお話しました内容を中心として、多少整理させていただいたものであります

2002～2003年度

強調事項 解説

A) 慈愛をもって意義ある
クラブライフを。

1) ロータリークラブライフは親睦が大切であることは言うまでもありません。一方ロータリーの精神は奉仕の理想の追求であります。

ラタクル会長が「草の根的」に慈愛の種を播こう。トップダウンでなく、ボトムアップで、と言っていることは正にポールハリスの「奉仕」という原点に立ち返ろうということです。

発足当初、ロータリークラブがシカゴ市に公衆トイレを寄贈する事によって奉仕団体として始めて認知され、1908年にはアーサー・F・シェルトンがロータリー活動に奉仕の意義付けを行うことによって、ロータリーの奉仕の哲学が出来上がりました。ポールハリスは「これこそロータリーのルネッサンスである。ロータリーの進化だ」と言っておりましたが、私達はこの「奉仕の心」をもう一度強く呼び起こしたいものです。ラタクルRI会長も、「親睦から奉仕」ではなく「奉仕を通して親睦を」と主張していることを見ましても、クラブライフの中で奉仕の心、慈愛の心を核心として”親睦”を展開することの大切さを言っております。

私達は“奉仕を目的としたロータリークラブ”的会員である事だけの故をもって、何となく奉仕活動に参加しているような錯覚にとらわれることが若しありとするならば、大いに警戒しなければならない事と思います。もともと奉仕という言葉はギリシャ語で、ディア、コニア、即ち汚いものを除いてあげるということです。お年寄りに対する場合、おしめを取り替えてあげることなのです。すなわち”実践”することなのです。私達は奉仕という言葉の意味をもう一度噛みしめて、クラブライフに活かしていきたいものです。

2) **職業奉仕**はクラブライフの大きな柱ですが、職業を通して奉仕活動を行うということは、言うは易く行うは難いものがあります。何故ならば、利益追求と職業の奉

仕は二律背反の事柄で、その二者の調節の接点をどことするかが問題となります。前述したシェルトンは、いみじくも、He profit most who service best. 「儲けんと欲すれば先づ奉仕せよ。」とか「最も奉仕する者が報われる」と言っております。

我が国では儒教の中で淮南子に”陰徳の家は、必ず陽報あり”と言う言葉がありますが洋の東西を問わず全く同じような意味であります。敢えてその差を言うならば、前者は個人が対象で後者は家が対象である点が違います。この職業奉仕の利益追求と奉仕との矛盾は、その後コリンズのService Above Self(超我の奉仕)によってロータリーの哲学として完成されることになります。即ち利己と利他の境界は恒常に連続が望まれる訳です。

ご存知、ハーバート・テーラーの四つのテストは、職業奉仕の典型的な成功例であります。テーラーの偉い所は、破産寸前の食器会社の職員1人1人にこの四つのテストを理解、普及させ、職員の意識からえて行った所です。しかし、その日本語訳の適否については昔からよく議論されていますけれども、この四つのテストの精神そのものは誠に素晴らしいものですので、その精神を日本流に活かしながら職業奉仕の展開をはかって行きたいものです。

3) **社会奉仕活動**についての世間一般的の評価は、残念ながら我々ロータリークラブよりもライオンズクラブの方が高いようです。ライオンズクラブの目的とするのはWe Serveであり、ロータリークラブの方



はむしろ I Serve でありますので、その差が評価となっているかもしません

私が35年前、ロータリーに入会した時、桐生の前原 勝樹先生からロータリークラブは奉仕する人の集まりであって、クラブが奉仕するのではないことを教えられました。すなわち I serve ということです。

その理論的根拠が、決議23-34であります。この決議の出来た理由について、敢えてここで又、取り上げさせていただくなればこれは、1915年エドガー・アレンの事件です。アレンは車椅子に乗った子供が身体障害者で学校にも行っていない状況から、この障害児の支援を思い立ち、クラブへ帰って報告しクラブもそれを支援することになりました。それが発端となって米国で初めて身体障害者の団体が出来たという画期的な福祉の成果が実ったのであります。期せずして、各ロータリークラブで、そのような福祉活動を始める所がある一方で、それに対する批判の声が上がっていました。

すなわち ロータリークラブは先ず個人の“奉仕の心の形成”に徹すべきであって、その後に個人の属する団体や地域社会に広げて行く事が望ましく、地域社会に対する奉仕はあくまで個人として行うべしという、クラブとしての活動に否定的な意見です。この理論派の意見と、社会奉仕を積極的に行うべしとする実践派との大論争になり、揚げ句の果てにはロータリー分裂の危機さえ起きたようです。結論は決議23-34に見られるように、理論派に有利では

あるが実践派にも歩みよったという、正に玉虫色の決議となりました。その頃、ライオンズクラブが発足したと言われております。

決議23-34

「ロータリークラブとはロータリーが提唱する奉仕哲学を受け入れ、それを実行する職業人の集まりである。奉仕哲学を学ぶ場は例会であり、奉仕の実践活動は原則的にロータリー個人に委ねられているが、これはクラブレベルの団体奉仕活動を全て否定するものではない・・・。」

残念なことに、これにはクラブが行う奉仕の実践活動についての理論付けが曖昧です。

この決議は、その後何回か修正の動きがありました。その本質は変りません。

ロータリー哲学は、個人研鑽が主体であります。これには「何もしなくても時は過ぎてゆく」といった一種の「落とし穴」のある事も知っています。一方、奉仕の実践者も、自らの奉仕活動をP.R.する事は何となくはばかると同時に、個人の能力には当然限界があります。Iが複数集まればWeになります。従って、We serve に対して余りに神経質にならないで、積極的対応で望みたいものです。肝心な事はロータリーが地域における社会奉仕に、どのような方法でどのような成果をあげたか、という事であろうと思うのです。

4)国際奉仕活動。青少年交換委員会やW.C.S.は歴史的な実績の上に立って、徐々ではありますが着実な前進が計画されているようです

R.I.財団の募金については日本に大きな期待が寄せられております。会員は最大限これに協力致しましょう。しかし、日本の経済状態の状態を考えると、慎重にならざるを得ません。日本は、その上、米山奨学金を抱えておりますので、一層会員の経済負担となります。このことは会員増強と決して無関係とは言えないようです。

B) 会員増強と退会防止、 新クラブの結成と女性会員

会員増強はR.I.の至上命令の様なもので、R.I.では毎月1人の増強を目標に指導をしておりますが、我々は、その目標に近づくよう努力したいと思います。

清年度からスタートした“女性会員の拡大”的運動は今来年も是非続けていただきたい。女性上位の伝統ある上州です。独立した女性会員の獲得に努力して下さい。又、御主人が有限会社等法人の理事長で、奥さんが理事役員をされている場合、奥様がロータリアンとなるには、何ら差し支えありません。

職業分類の検討と、新会員発掘の努力は各クラブ共に継続されるべきだと思います。

「新入会員に対して、入会の意義付けを印象づける為、厳粛な入会式のセレモニーを考えていただきたい、又新会員が退会の意図を持たないように十分なロータリーアクション情報を与えて欲しい」というのがラタクル会長の意向です。

退会防止のもう一つのインセンティブは情報提供もさることながら例会を意義ある

ものにする配慮も必要となるでしょう。単なる親睦だけでは、いわゆる金持ちの昼飯会になってしまいます。意義が希薄になつた例会は会員退会の抑止力にはならないでしょう。

勿論、私は例会が心の安息場所であるべきという意見に大賛成です。私はかつて例会は“心の癒しの場所で”あるべきと言つたことがあります。よく言われるように英国人の午後の紅茶、ドイツのビール、スペインの昼寝といった安息も新しいエネルギーの充実となる訳ですが、そこに奉仕の理想という芯棒から振り撒かれるスパイスをどのように、うまく会の運営にアレンジしていくかが大切なことと思います。このスパイスが例会のマンネリ化を防ぎ、退会防止につながるよう思います。

何れにしろ、ラタクル会長が言われるように、親睦の中に奉仕の心「慈愛の心」をしっかりと持つようにいたしましょう。新クラブの結成もRIの強い主張あります。清年度は一クラブ増えました。更に引き続いて可能性のある地域で結成の動きがスタートしているようですので見守りながら強いサポートをしていきたいと考えています。

C) 新世代委員会

青少年対策には私は格別な関心を持っております。私は日本医師会役員を10年続けましたが平成8年に退き、現在日本学校保健会会長の職にあります。

この日本学校保健会というのは、文部科学省の外廊団体でもありますので、私はこの



新世代委員会の充実、発展を心から念願しております。

幸い、清年度に教育問題を取り上げていただき、上毛新聞紙上にも教育に対する私達の対談が掲載されましたが、その時の記事にもありましたように、従来のインター、ローター、ライラの他に”こども奉仕委員会”を作ってはどうかと考えてあります。これは既に諮問委員会で了解を得てあります。

かつての青少年奉仕委員会が新世代委員会となり、対象が0才～30才迄と拡大されました。14才以上については既に三つの委員会で対応されていますが0才～14才の対応を考えなくてはなりません。

今年4月から学習指導要領が変わって週5日制となり、同時に小、中学生の総合学習の時間と奉仕活動が実施されるようになりました。小、中学校では、その新しい取り組みの為、戸惑いもあるようです、この「こども奉仕委員会」は飽くまで学校教育の一環としての奉仕活動と言う枠の中で、そのサポートをしてあげてほしいのです。

今年10月、桐生で行われる地区大会の折、ロータリークラブと群馬県教育委員会が共催で、奉仕活動の実践報告、作文コンクールを行い、優秀作品を表彰する計画を持ってあります。また、その折りの特別講演には、奉仕に造詣の深い学者の方の講演を予定しております。

インタークラブ15、ロータークラブ12、この数はなかなか増加いたしません。インタークラブが立ち上がった頃は、高等学校における奉仕活動はまだ珍しい存在でもあり、インタークラブの意義も、そこにありました。ところが現在では、多くの場所で、多くの団体が奉仕活動を行なう時代になりましたので、勢い、インター

トクラブの行う奉仕活動が、相対的な地盤沈下を起していると指摘する人もおります。

2年後には、高等学校生徒にも「奉仕活動」が義務づけられるようになります。その時に、インタークラブの存在が注目されるのではないかと思います。

それだけに、インタークラブ、これはロータリークラブも同様ですが、思いを新たにした我々の強い指導や協力が求められております。インターとローターの数も2840地区のクラブ数の約3分の1です。計算してみると、**24のクラブ**がインターもローターも持っていないことになります。当初は、1クラブ1アクトが目標でしたが、その目標にはなかなか到達いたしません。その原因はどこにあるのでしょうか。

「あのようなアクトクラブなら、わがロータリークラブも是非持ちたいものだ。」といった声が挙がるようになるのが望ましいのですが、そのためには、どの様な方策があるのでしょうか。

私はインター、ローターの抱える現状から、未来を展望した新しい活動を期待したいのです。良い知恵をお貸しください

21世紀を担う子供たちを取り巻く社会環境は、今や驚くべき変化を迎えております。「今まで、このやり方で来たから」と言う発想は、期待できる回答にはならないようです。

変化に対応出来る、未来に向けてのレールを、子供達に敷いてあげるのが、我々大人の責任でもあるように思います。

ライラについては、新潟と分かれましたが、群馬独自の特殊性を活かしながら、その内容の一層の充実に努力して行きたいと考えております。

清 直前ガバナーご苦労様でした。

ガバナー 矢 野 亨

一年とは早いもので、清 直前ガバナーが就任されたのはついこの間のような気が致します。

顧みて何かと感慨無量なものがあります。

当地区は、関口年度に R I 2560 地区から分割され、新たに R I 2840 地区として独立致しました。

清ガバナーが就任されたときは分離独立の余韻が未だ醒めやらないようにお見受けし、更に D · L · P への対応や、新たに規定審議会からの変更など、正に変化の多い年度でもありました。

清 直前ガバナーにおかれましては、豊富なご経験をもとに見事にこれらに対応し、後に続く私たちに数々の実績をお残しになりました。

特に、藤岡南ロータリークラブ新設、女性会員増強に奥様共々努力されました様子には頭の下がる思いが致しました。

又教育問題については、講演会、新聞紙上の座談会等新しい企画を立てられ、矢野年度新世代奉仕委員会で教育問題を取り上げようとする私達に大きな道を開けて頂きました。

これからは、パストガバナーとして隠に陽にご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、ご夫妻のご健勝を心からお祈り申し上げ御礼の辞とさせて頂きます。

慈愛の種を播く大器の人、
矢野ガバナーに地区の夢を託します。

直前ガバナー 清 章司

地区分割により、今までとは違う道を歩み始めた 2840 地区は、急発進にもかかわらず卓越した関口パストガバナーのご指導により、堅固な地区地盤が出来上りました。

そのような中で新世紀にスタートした私共の年度は、大切な継承事項から更にあらたな特別強調事項を掲げ、貪欲に活動した積りであります。悔いが残らない訳ではあ

りません。今、ロータリーがやらなければならぬことは山ほどあります。幸い当年度をお務めいただく矢野ガバナーは、広い視野と豊富な経験、医学の道は勿論のこと、長年にわたる福祉事業で積まれた奉仕スピリッツは必ずや地区内ロータリアンの心に響く、強いリーダーシップを発揮されるものと確信しております。 地区チームセミナーに始まった諸準備では、矢野ガバナーのシャープさとこれに応えて学ぶ地区委員の皆様には、誠に真摯なものがあり、前途に大きな夢の持てる仲間達であると承知しています。 優秀な地区委員、ガバナースタッフに恵まれ、いささかの不安もなくご活躍いただけるものと思います。矢野年度の快適な旅路を祈り、期待と祝福の言葉と致します。





2002~03年度 会長賞

ロータリアンの皆様：

私たちの世界で永続的な平和を達成するには、私たち一人一人の仕事、国際理解と親善の精神を生み出すために少しずつ長い間歩み続けることが要求されます。そのために、私は全ロータリアンに、ロータリーへの個人的な投資と誓約をお願いしたいのです。私たちは幸いにも、自分のクラブに、自分の職場に、地域社会に、そして世界中ありとあらゆる場所に慈愛の種を播くよう私たち全員に奨励する組織に所属しています。心を広くもち、ロータリーを通じた奉仕の機会を、慈愛に満ちた心で進んで受け入れていただくようお願いいたします。

有意義な変化ならびに平和は、上意下達ではなく、草の根レベルから芽生えなければならぬと私は信じています。それゆえ、2002-03年度会長賞は、ロータリアンとロータリー・クラブの草の根レベルの活動を奨励するものです。あなたのクラブで、親睦を促進し、会員を増やすために、他の人々の心情に慈愛の種を播きましょう。あなたは、ロータリー・財団のプログラムを通じて慈愛の種を播くことができます。あなたはまた、四大奉仕の各部門で慈愛の種を播くことができます。私は自分たちのクラブにおける可能性をはかり、見極めるロータリアンの洞察力と意見を支持し、あえて、ロータリー・クラブに対して特定の業績を指定していません。あなた方自身がクラブとしての独自の目標を定め、取り組んでいただくよう求められているのです。2002-03年度、全ロータリアンに向かって私が強くお願いしたいのは、私たちの周りで、そして世界中ありとあらゆる場所で平和を培い、人々の生活を改善するために慈愛の種を播くことです。

ビチャイ・ラタクル
RI, 2002-03年度会長

資格基準と提出期限

クラブに対する表彰

2002会長賞の表彰を受けるためには、クラブは以下の目標を達成しなければなりません
あなたのクラブの年次会員増強目標を達成する（クラブの2002-03年度会員増強対策は、会員の純増率および退会防止率の向上、新ロータリー・クラブの提唱を含め、国際ロータリーの全般的な会員増強目標と一致するべきものとします。）

ロータリー財団のプロジェクトへの財政面での支援に参加する；および
四大奉仕の各部門当たり少なくとも1つの活動から成る、よく計画されたプログラムに着手する：

- ・クラブ奉仕
- ・職業奉仕
- ・社会奉仕
- ・国際奉仕

定められた期間内にこれらの目標が達成されましたら、申込書(900IB)に漏れなく記入し、あなたの地区のガバナーに送付しなければなりません。ガバナーは申込書に署名してあなたのクラブの活動が完了したことを証明し、2003年4月15日までに米国、イリノイ州、エバンストンのRI世界本部に転送しなければなりません。

提出期限

ガバナーの署名入りの会長賞申込書はRI世界本部に2003年4月15日までに提出しなければなりません。

地区ガバナーに対する表彰

地区内クラブの50パーセント以上が賞の受賞資格を得た場合、地区ガバナーに2002-03年度会長賞の受賞資格が与えられます。受賞資格を得たガバナーはこの業績に対して特別表彰を受けます。

識字率向上月間に寄せて



R I 識字プロジェクト 支援のお願い

国際ロータリー識字委員会委員
東アジア識字小委員会 委員長
パストガバナー 重田 政信

R I は、非識字（昔のいわゆる文盲）こそ、貧困をはじめとする諸悪の根源であると考え、ご承知の通り 1997 年の R I 理事会で、7 月を識字率向上月間に指定しました。その後、識字問題は 2005 年までの R I 強調事項となり、ビチャイ・ラタクル・R I 会長も、その強調事項の筆頭に識字問題を挙げておられます。今や識字率向上運動は、ポリオ・プラス計画の後を継ぐ R I の重要なプログラムになりました。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するということは、社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は正当な職に就けず、それに帰因する貧困は更にその子供たちの就学の機会を奪い、途上国において非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

世界には約 10 億の非識字者がいます。私たには想像できない数字であります、これは 15 歳以上の大人の 1/4 に当たります。その 3/4 はアジア人であるといわれ、また非識字者の 2/3 は女性であります。

一方、世界で 1 億 3 千万の就学年齢児が学校に行けません。ユネスコや我々の努力にも拘わらず、この数があまり減少していません。途上国の子どもが年々増え続けているので、学校に行けない子どもが増加する恐れもあります。また、折角入学した子供も 1/3 は小学校を卒業していません。このままでは南北間の貧富の差は益々広がり、地球規模の社会不安は一層増大するでしょう。

ニューヨークでの同時多発テロの原因も、結局は貧富の差に根ざしていると言われます。これは我々に強い危機感を与えます。

先進国ではメディア・イリテラシー（メディア音痴）という言葉さえ聞かれます。「メディア音痴」とは、インターネットを始めとする情報技術に乗り遅れることを意味し、これではメディアを使いこなす人に決定的な差をつけられることを覚悟しなければなりません。こうした情報化社会の時代に、文字さえ知らないということは何を意味するでしょうか？ このままでは、世界人口の 1/5 に過ぎない先進国的情報技術が益々進歩し、南北国家間の文明格差は増すばかりであります。

このままでは、私たちは到底平穏な世界を次の世代に残すことはできないでしょう。

現在、世界の人口は 60 億に達しました。更に年間約 1 億人、即ち毎年メキシコの人口に匹敵する人口増加を続けています。このまま人口が増え続いているならば、この地球の将来は暗いでしょう。しかも人口増加の 99% は途上国の人口です。我々は折角予防接種で救った子どもたちを飢え死にさせてはなりません。また彼らに生き甲斐を持たせる教育と職業を与えなければなりません。

人口増加抑制の最大のポイントは母親たちの教育です。途上国の少女が中等教育を受けるだけでは出生率が低下し、先進国並になることが知られています。従って、教育、特に女性教育こそ、我々宇宙船地球号が生き延びてゆく上での最も効果的な手段であると言えるでしょう。

これが、私たちの進めようとしている識字率向上運動の今日的意義であり、正に「情けは他人のためならず」であります。確かに私たちは長引く不況のさ中にいます。しかし、今直ぐに識字率向上運動を推進しなければ、手遅れになるでしょう。

R I の識字委員会は、各途上国の委員からの確実な情報に基づき、地区レベル、あるいはクラブレベルでご協力いただく最も意義な援助プロジェクトを決定し、いざれそのリストを提供させて頂きます。諸般厳しい状況下にありますが、何卒識字プロジェクトの重要性をご理解賜り、R I の識字率向上運動にご協力下さいますよう御願い申し上げます。



こども奉仕委員会

こども奉仕委員会設置と活動について

新世代奉仕委員会 委員長 川生 宏
こども奉仕委員会 委員長 斎田博之

はじめに

この委員会は、矢野ガバナーエレクトの新世代奉仕に関する基本方針に基づき、新世代奉仕委員会のもとに活動を開始する委員会で、2002-2003年度に各ロータリークラブに設置が期待される委員会です。

矢野ガバナーエレクトの「こども奉仕委員会」の設置に関する要望は、概略以下であります。

- 1) 週休二日制の完全実施とボランティア活動の義務化によって、学校生活の中で、こども達の奉仕活動のあり方が変わっていこうとしている。
- 2) 新世代の子供たちは、この激しく価値観変わっていく時代にあっても「生きぬく力」をもって、たくましく育ってほしい、そして、社会奉仕を体験しながら相手の痛みを知り、やさしい心を持って、次の世代を担ってほしい、そんな思いを込め、子供たちの学校での体験学習、実践における奉仕活動を、ロータリアンとしてサポートしていただきたいと思っている。
- 3) この目的のためは、学校教育に係わりのもつたロータリアンが望ましいわけで、特に教育関係者、教育協力者並びに学校医、学校歯科医、学校薬剤師などのロータリアンが当面その活動の主力となり、道筋をつけてほしい。

以上が矢野エレクトの趣旨ですが、この事業を達成していただくためには、こども奉仕委員会を早急に5月中に立ち上げていただき、6月には会議をもち7月よりの活動に備えていただくことが、ぜひ必要となります。またローターアクト、インターラクトを有しないクラブでは、この活動を新世代奉仕のひとつとして位置付け、今まで比較的かかわりの薄かった小中学校のこどもを、ロータリーの奉仕の対象としていただくこと

も、大変有意義なことと考えています。活動として、以下のような手順が考えられます。

1. こども奉仕委員会の設置について

こども奉仕委員会は、クラブごとに充分協議のうえ数名の規模で設置していただくことを基本とします。委員には学校に密接なかかわりのあるロータリアンが適当です。当初 学校経営者、教師、PTAなど教育関係者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師など学校保健関係者等で組織していただきます。タイムスケジュールに従い、直ちに活動計画を立て、行動を開始してください。事情でどうしても委員会を設置できないときには、担当者を置いて、活動理念の伝達とこども奉仕体験作文コンクール応募のための学校訪問活動をお願いします。

2. 活動目的

こども達の健全な心身の育成は、人類の明るい未来社会のために欠くことのできないことです。また次世代を担うこのこども達に対して奉仕のこころを育成することは、ロータリアンにとっても重要な責務であります。又、同時にこの機会を捉えて学校長をはじめ学校関係者にロータリークラブの精神と意義を理解して頂くことも重要な事であります。

3. 方法

ロータリーの活動として、家庭内に直接アプローチする事は、困難性があるところから、教育現場からのアプローチが大切となります。

今期、こども奉仕活動は、特に総合学習の時間を移用して体験学習や休暇中の奉仕体験にロータリアンが直接的に又は間接的に係わることがあれば、ぜひ積極的に係わっていくようなことを期待しています。

ロータリアンは、まず地域の学校(学校長又はそれに順ずる役職)にアプローチし、学校の体験学習又は休暇中の奉仕体験などについて、どのように考えているか、どのような計画があるのか、懇談を申し入れ、話し合うことが大変重要であると考えています。

その話し合いの中で、必ずや何かわれわれのロータリー精神と共感できることがある筈です。できるならば例えば、**社会科授業の一環として、又学校指導の総合学習の一環として**ロータリーが積極的な手助けを申し入れるのも有効な方法です。又「このような奉仕活動がありますよ」といった相談にのり、直接、その活動に参加するとか、適切な助言してその可能性を追及していただきたいと思います。(参考資料は別紙)。

4. 教育委員会と協力して

この事業は、県教育委員会の了承が得られており、今回の作文コンクールとその表彰事業はロータリークラブと県教育委員会との共催事業となっております。従って県教育委員会から県下の各小中学校宛に公文書を発送してこの事業への参加を呼びかけていただくことになっております。各ロータリークラブが小・中学校の訪問に際しては、ガバナーからのこども奉仕委員会活動趣意書(別紙1)と作文コンクール募集要項(別紙2)をご持参いただくことになります。

尚、県下各小中学校には県教育委員会から今回の行事に対する応募の依頼と県下各ロータリークラブの名称・住所電話番号・会長名等の一覧表(24・25ページ参照)が送られており、でロータリークラブが担当する以外の小中学校からも応募されることも考えられます。その際は最寄りのロータリークラブを通じてガバナー事務所まで提出いただくことになりますので、連絡を受けたロータリークラブは当該の小中学校と充分な情報の連絡をとっていただきたいと思います。

参考活動例

(1) 校長にロータリーの奉仕の理想を分かりやすく説明し共通点協議する。

(2) こども達の奉仕活動を手助けする。

A. 福祉施設での奉仕体験

B. 自然、街頭での清掃等の奉仕活動

(3) こども達のいろいろな体験を

手助けする

A. 職場訪問をコーディネートし、職業に対し真剣に取り組むことの大切さを理解してもらう。(自クラブ会員より可能な職場をリストアップする。)

(4) 一緒に話合いの集会を持ち奉仕活動に対する理解を深める。

『語ろう・・・集会』生きる、働く、やさしさ、親子、愛する、介護などをキーワードとする。

こども奉仕体験作文コンクール・ タイムスケジュール

(1) こども奉仕委員会委員長並びに

担当者会議・・・・・ 5月21日

詳細説明(矢野ガバナーエレクト事務所にて)

(2) 学校訪問開始・・・~7月1日より

学校長面談・活動協議及び作文コンクール出展依頼

(3) 奉仕活動参加又は支援・・・ 7, 8, 9月

(4) 作文締め切り・・・・・ 9月10日

(5) 審査(別紙)・・・・・・・ 9月下旬

(6) 地区大会二日目

表彰式 午後1:30~・・・・・ 10月20日

(賞状作成、記念品は、矢野ガバナー事務所が用意する)

【こども奉仕委員会活動趣意書】別紙1

学校長各位

時下ますますご清栄にご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、ご存知のようにロータリークラブは、1905年米国シカゴにその端を発し、ポールハリスが奉仕の理想を掲げて組織した世界的組織です。

活動は、幅広く社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、新世代奉仕等あり、特に近年は、次世代を担



う若者の育成に力を注いであります。

今年は、こども育成に力をいれ活動をする予定であります、貴学校の児童生徒の奉仕活動等などございましたら、ロータリークラブの奉仕の精神ときっと合致するものと確信いたします。

ぜひ今年は、奉仕活動をリンクさせ学校とロータリークラブの奉仕の相乗効果が生まれれば、これにすぐるものはありません。貴学校にロータリアンが訪問しますが、ぜひご協議いただき、その協力の可能性をご協議いただきたいと思います。

また子供たちの奉仕活動の感想など作文にし、「こども奉仕体験作文コンクール」にご応募いただき、優秀者を、10月20日開催の国際ロータリー第2840地区2002-2003年度「地区大会」において表彰したいと思っております。

なおこの事業は、県教育委員会との共催事業であることを付け加えます。

国際ロータリー第2840地区
2002-2003年度
ガバナー 矢野 亨

【こども奉仕体験作文コンクール募集要項】

別紙2

主催 国際ロータリー第2840地区(群馬)
共催 群馬県教育委員会

作文対象:社会への奉仕活動

学校生活における身近な奉仕体験活動。
家族で体験した奉仕活動。
体験形態は、グループ体験、個人体験を問いません。

応募対象:

群馬県下各小学校・中学校児童・生徒

個人またはグループ代表

応募字数:1200字程度

住所・氏名・学校名・何年何組を必ず明記して下さい。

応募方法:各学校で取りまとめて、担当(もしくは最寄りの)ロータリークラブを通じて、矢野ガバナー事務所までご送付下さい。

(ロータリークラブ連絡先一覧表 24.25

ページ 参照)

応募締め切り:平成14年9月10日

(当日消印有効)

表彰式:平成14年10月20日午後1:30~

国際ロータリー 第2840地区

2002-2003年度 「地区大会」

桐生市市民文化会館「シルクホール」にて

送付先:問合せ先

矢野ガバナー事務所

376-0011 桐生市相生町5-493

(福)希望の家 のぞみの苑内

電話 0277-55-5288

FAX 0277-55-5289

メール yano.gov@kibounoie.or.jp

【審査について】 別紙3

(1) 審査員メンバー

ガバナー

教育委員会

幹事、副幹事

新世代奉仕委員長

こども委員会委員会

上毛新聞社

(2) 表彰

小学生の部・中学生の部

それぞれに最優秀賞1及び優秀賞3~5

その他応募作文は参加賞。

(3) 審査方式

全応募作文について予備審査(1次)を行い選別されたものに対して、本審査(2次)を行い、受賞作を決定する。

青少年交換委員会

青少年夏季交換プログラム概要

青少年交換委員会委員長 天笠博

1. 日程

- ・7月8日(月)ドイツ学生成田到着バスにて群馬入り、同日前橋東急インにて、ホストクラブに引渡し
- ・7月19日(金)ドイツ学生 高崎駅よりJRにて新潟へ移動 同日、長岡グランドホテル2560地区ホストクラブへ
- ・7月30日(火)ドイツ学生高崎・東京経由成田へ、同日ホリデーイン東武成田にて日本学生結団式、日独学生歓送会
- ・7月31日(水)日独学生 成田発
- ・8月24日(土)日本学生ドイツより帰国(成田)

2. 派遣学生

斎藤 貴子 群馬境RC、羽鳥 友子 桐生西RC
遠藤 里紗 沼田中央RC、伊能 真美 伊勢崎RC
矢野 美知子 安中RC、中島 賢太郎 前橋南RC
瀬谷 直樹 桐生赤城RC、石田 宗一郎 館林RC
ほか2560地区より5名

3. 受け入れ(ドイツ)学生

男子4名 女子4名 計8名

こども奉仕委員会会議報告

開催日・時間: 2002年5月21日 19:00 ~ 20:30

会場: のぞみの苑会議室

出席者:

ガバナーエレクト 矢野亨

次年度地区幹事 根本正則

新世代奉仕大委員長 川生宏

こども奉仕委員長 正田博之

こども奉仕委員 森下正教

こども奉仕委員 角田守

群馬県教委事務局文化スポーツ部生活学習課

主幹兼社会教育主事 二渡孝之氏

群馬県社会福祉協議会ボランティア振興課

主幹兼課長代理 五十嵐康光氏

次年度副幹事 鳥嶋隆一

各RCこども奉仕委員会委員長 36名

総合計 47名

報告事項

1. 矢野ガバナーエレクト 挨拶
2. 川生新世代奉仕大委員長 挨拶
3. 正田こども奉仕委員長 挨拶
4. その後、森下こども奉仕委員より今年度より設置されるこども奉仕委員会設置と活動について(案)を各クラブの委員長さんに対してレジメをもとに説明をされ理解を求めた。その後、質疑応答が活発に行われ同席された県教委、県社協の主幹のお二人からも県側の対応についてお話しをして頂きました。

最終的にはこども奉仕委員会としてはもう一度解りやすく報告説明出来るよう検討し各委員長さん宛に送付するという事で今回の会議は終了致しました。

(鳥嶋隆一 記)

『ロ-タリ-の友』英語版

“THE ROTARY-NO-TOMO”

2002-03年度分ご予約受付中

“THE ROTARY-NO-TOMO”では、日本のロ-タリ-や日本の社会の紹介をしています。『ロ-タリ-の友』誌からの転載をはじめ、海外向けの独自の記事も掲載しています。海外の姉妹クラブ、ロ-タリアン、友人、知人にお送りください。GSEメンバー、ロ-タリ-財団国際親善奨学生、青少年交換学生などを通して、関係クラブ・地区などの方々にプレゼントしてください。また、インター-アクタ-やロ-タ-アクタ-をはじめ、日本の高校生や大学生に、英語の学習を通して、日本のロ-タリ-や日本文化を知ってもらうのにもご利用いただけます。

2002-09年度は、No.57(2002年11月)・No.58(2003年4月)発行の予定です。

価格 1部 500円

1口 1,000円

(No.57・58各1部の年間申し込み)

いずれも、送料込み・消費税別

ご注文は、7月15日付でクラブあてに送付の注文書をご利用ください。 ロ-タリ-の友事務所



文庫通信(177号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本のロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、32年の歴史を誇る全日本ロタリアンの資料室です。分類・整備され、皆様のご利用に備えております。ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用下さるようお待ちしております。

利用方法

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。

・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。

・重複資料はご希望により無料進呈致します。

・ビデオテープは実費(1巻800円+送料)でダビングを致します。

(貸出し)

・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。

・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

ガバナー事務所より

ガバナー月信発行要領

ガバナー月信を以下の要領にて発行しますのでご協力をお願いします。

1. 新入会員紹介の場合

クラブ名、氏名、入会年月日と顔写真をお送り下さい。

物故会員の連絡の場合

クラブ名、氏名、逝去年月日と顔写真をお送り下さい。

2. クラブからガバナー事務所への送付方法、〆切日

・出席報告: FAXで報告して下さい

FAX先: 0277-55-5289

・原稿の場合: メールまたはFAXで報告して下さい
メール先: yano.gov@kibounoie.or.jp

・新入会員紹介、訃報など写真を添える原稿の場合:
原稿と写真を郵送する。

郵送先: 376-0011

桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑

矢野ガバナー事務所

原稿をメールまたはFAXで送り、写真を郵送するか、写真を添付してメールしていただいても結構です。

・締め切り日

出席報告: 毎月7日

原稿: 毎月10日

3. 月信をPDFファイルにしてホームページに掲載し、各クラブにメールにて通知しますので、クラブごとに担当者(おもに事務員)は、ダウンロード後印刷して会長、幹事、ロータリー情報委員にお渡しください。その後会員に周知してください。

URL: <http://www.kibounoie.or.jp/gov>

4. メールアドレスを登録してある会員については従来通りメールにて月信の発行を通知します。新規に登録する場合はホームページから登録してください

5. 印刷用紙について

月信は見開きになりますので両面に印刷してください。インクジェットプリンタの場合、裏面ににじみますのでインクジェット用両面印刷用紙をお勧めします。レーザープリンタ、コピーの場合は普通紙でも可です。

2002-03年度 送金カレンダー

区分	項目	金額及び摘要	期日	送金先及び送金明細の提出先
A 1	国際ロータリー 人頭分担金	* 会員 1人当たり 上期 18.50 フル × 7月1日現在会員数 (内 1 フルは年次規定審議会追加会費) 下期 17.50 フル × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通預金 6733244 口座名 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
		* 半期報告以降に入会された会員 7月 2日～9月 30日新会員 1人当たり 8.75 フル 1月 2日～3月 31日新会員 1人当たり 8.75 フル	2003年1月1月～31日 2003年7月1月～31日	人頭分担金、ロータリアン誌購読料 の送金と同時に、半期報告書を 国際ロータリー日本事務局に 郵送する。
A 2	ロータリアン誌	上期 6 フル × 購読者数 下期 6 フル × 購読者数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	送金明細書の写しを送金と同時に、 国際ロータリー日本事務局と 矢野ガバナー事務所にファックス にて送付する。
A 3	ロータリー財団 寄付	任 意 (地区と致しまして、前年度同様額 若しくはそれ以上の額をお願い致します。)	随 時	三井住友銀行 本店営業部 普通預金 0968049 東京三菱銀行 本店 普通預金 1528228 口座名 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
				送金明細書の写しを送金と同時に、 国際ロータリー日本事務局と 矢野ガバナー事務所にファックス にて送付する。
A 4	ロータリー 米山記念奨学会 寄付	* 普通寄付 上期 各クラブ 任意額 × 7月1日現在会員数 下期 各クラブ 任意額 × 1月1日現在会員数 (ロータリー米山記念奨学会と致しましては、 前年度同様額若しくはそれ以上の額を お願い致します。)	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	三井住友銀行 京橋支店 普通預金 0920373 口座名 (財)ロータリー米山記念奨学会
		* 特別寄付	随 時	送金明細書の写しを送金と同時に、 ロータリー米山記念奨学会と 矢野ガバナー事務所にファックス にて送付する。
A 5	ロータリーの友 購 読 料	上期 1,200 円 × 注文部数 下期 1,200 円 × 注文部数 * 中途購読開始について 1部200円 * 消費税は別途	ロータリーの友事務所 からの請求に従って 下さい。	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金 6326314 口座名 ロータリーの友事務所
B 1	地区運営資金	上期 3,400 円 × 7月1日現在会員数 下期 3,400 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
B 2	地区大会協力金	上期 2,000 円 × 7月1日現在会員数 下期 2,000 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
B 3	ガバナー事務所協力金	上期 2,750 円 × 7月1日現在会員数 下期 2,750 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	群馬銀行 大間々支店 普通預金 0864442 口座名 R I 第 2 8 4 0 地区 会計長 星野幸男 (ホシノ ユキオ)
C 1	青少年交換資金	上期 1,750 円 × 7月1日現在会員数 下期 1,750 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
C 2	I・A 振興資金	上期 500 円 × 7月1日現在会員数 下期 500 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
C 3	R・A 振興資金	上期 400 円 × 7月1日現在会員数 下期 400 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
C 4	研究グループ 交換資金	上期 600 円 × 7月1日現在会員数 下期 600 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	B・C 項目送金案内書を送金と同時に 矢野ガバナー事務所にファックス にて送付する。
C 5	世界社会奉仕資金	上期 150 円 × 7月1日現在会員数 下期 150 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
C 6	国際交流基金	上期 150 円 × 7月1日現在会員数 下期 150 円 × 1月1日現在会員数	2002年7月1月～31日 2003年1月1月～31日	
C 7	ライラ活動資金	上期 600 円 × 7月1日現在会員数	2002年7月1月～31日	

2002-03年度 R I D 2 8 4 0 地区組織表

ガバナー公式訪問・公式行事・主要行事一覧表

46RC
■は祝祭日 2002.6.10現在

月	火	水	木	金	土	日	備考
七 月 8	1 2	3	4	5	6	7	インターハクト合同会議
15 高崎	9 前橋	10 17	11 18	12 前橋西	13 20	14 21	
22	23 沼田	24 水上	25 沼田中央	26	27	28	
29	30 高崎南	31					会員増強及び拡大月間
八 月 5	前橋北	6 7	8	9	10	11	
12	13 前橋中央	14 高崎北	15 22	16 渋川	17 23	18 24	インターハクト年次大会
19	20 高崎セントラル	21 28	29 高崎東	30 藤岡南	31	25	
26							
九 月 2	3 藤岡北	4 安中	5 11	6 藤岡	7	8	新世代のための月間
9	10 中之条	11 18	12 富岡	13 富岡中央	14 20	15 21	第1分区[M]
16 23	24	25 大泉	26 碓氷安中	27 館林	28	29	第2分区[M]
30							第5分区[M]
十 月 7	1 館林西	2	3 太田	4 太田中央	5 ライラ	6 ライラ	職業奉仕月間
14	8 太田南	9	10	11	12 D2560地区大会	13 D2560地区大会	米山月間
21	15 新田	16 太田西	17 館林ミニアム	18 境	19 地区大会	20 地区大会	
28	22 館林東	29 30	31 草津	26	27		
十一 月 4	5 伊勢崎東	6 13	7 伊勢崎	8 伊勢崎中央	9 15	10 16	ロータリー財団月間
18	19 桐生	20 伊勢崎南	21 桐生南	22 桐生中央	23	17 21	世界インタークト週間 (11月5日を含む週)
25	26 桐生赤城	27	28	29 桐生西	30	24	
十二 月 2	3	4	5	6	7	8	
9	10 17	11 18	12 19	13 20	14 21	15 22	
16 23	24	25	26	27	28	29	
30	31						



2840 地区ロータリークラブ一覧

	クラブ名	会長名	TEL	住 所
			FAX	E-mail
第1分区	前橋	横田秀治	027-252-0532 027-254-0612	〒371-0846前橋市元総社町194群馬銀行本店内 E-mail: office@maebashi-rc.gr.jp
	前橋西	千木良芳朗	027-243-1188 027-243-8211	〒371-0026前橋市大手町1-9-7群馬ロイヤルホテル E-mail: mwrc@wonder.ocn.ne.jp
	前橋東	内山均	027-252-7907 027-252-7962	〒371-0847前橋市大友町1-2-11グランドベルズ内 E-mail: merc@tohoku.or.jp
	前橋北	関口要	027-220-1835 027-220-1836	〒371-0023前橋市本町2-16-1前橋東急イン内 3 F E-mail: mnrc@eagle.ocn.ne.jp
	前橋南	細井哲男	027-223-2155 027-223-2155	〒371-0023前橋市本町2-16-1前橋東急イン内 2 F E-mail: msr2001@jeans.ocn.ne.jp
	前橋中央	桑原虎太郎	027-255-2207 027-255-2230	〒371-0847前橋市大友町1-2-11グランドベルズ内 E-mail: mcrc@smile.ocn.ne.jp
第2分区	桐生	阿部高久	0277-45-1513 0277-45-1514	〒376-0035桐生市仲町2-9-36桐生俱楽部内 E-mail: rotary@kiryu.co.jp
	伊勢崎	板垣時央	0270-24-9966 0270-24-9968	〒372-0034伊勢崎市茂呂町1-389クレインパークホテル山楽荘 E-mail: isesaki@f5.dion.ne.jp
	桐生南	大友昭久	0277-45-2875 0277-43-8738	〒376-0023桐生市錦町3-6-15 E-mail: minamirc@ktv.ne.jp
	群馬境	田部井佐平	0270-74-4099 0270-74-4099	〒370-0124佐波郡境町309群馬銀行境支店内 E-mail: gsrc@beach.ocn.ne.jp
	桐生西	鈴木理之	0277-22-9155 0277-44-2777	〒376-0042桐生市堤町3-5-23桐生プリオパレス内 E-mail: kiryu-west@opti.ne.jp
	伊勢崎中央	大和仁	0270-20-6000 0270-20-6001	〒372-0812伊勢崎市連取町2687-1日本クリエート内 E-mail: i-chuorc@luck.ocn.ne.jp
	伊勢崎南	都丸洋	0270-23-1111 0270-21-9000	〒372-0042伊勢崎市中央町20-17伊勢崎太田信用金庫本店内 E-mail: info@is-rc.com
	桐生中央	須永登	0277-77-0075 0277-77-0076	〒379-2311新田郡笠懸町大字阿佐美1241-1メゾンベルディクトA-106 E-mail: krcrc@vi.sunfield.ne.jp
	伊勢崎東	金井朗	0270-30-3344 0270-30-3345	〒372-0031伊勢崎市今泉町1-1522(株)シンフォニー内 E-mail: isesakihigasi-rc@joy.ocn.ne.jp
	桐生赤城	町田裕一	0277-30-3321 0277-30-3381	〒376-0042桐生市堤町3-19-22 E-mail: kiryu-akagi@opti.ne.jp
第3分区	高崎	金田悦郎	027-327-2888 027-327-2887	〒370-0815高崎市柳川町70高崎ビューホテル内 E-mail: t-rotary@sweet.ocn.ne.jp
	高崎南	高橋充	027-327-7711 027-327-3730	〒370-0824高崎市田町46群馬銀行高崎田町支店内 E-mail: tsouthrc@sepia.ocn.ne.jp
	富岡	木田龍夫	0274-63-0484 0274-62-5533	〒370-2316富岡市富岡245-1ホテルアミューズ富岡内 E-mail: t2000rc@dan.wind.ne.jp
	藤岡	石崎勝宥	0274-22-1230 0274-24-1229	〒375-0024藤岡市藤岡853-1藤岡商工会内 E-mail: cci10@fuijioka-cci.or.jp
	安中	須藤英仁	027-382-2000 027-382-6160	〒379-0116安中市安中3-19-25群馬銀行安中支店内 E-mail: annakarc@basil.ocn.ne.jp
	高崎北	橋谷明	027-330-6060 027-330-6061	〒370-0815高崎市柳川町70高崎ビューホテル内 E-mail: takakita@k1.wind.ne.jp
	藤岡北	松岡好一	0274-42-0930 0274-42-5413	〒370-1301多野郡新町2270-12新町商工会館内 E-mail: kannagawa@shinmachi.or.jp

	クラブ名	会長名	TEL	住 所
			FAX	E-mail
第3分区	高崎東	神宮義治	027-353-2834 027-353-2703	〒370-0031高崎市上大類町910-4高崎ケ'ラント'バ'ティオ4F E-mail: info@nobusawa-kk.ocn.ne.jp
	富岡中央	伊原喜久雄	0274-62-5588 0274-62-5722	〒370-2316富岡市富岡245-1富岡ホテルアミューズ富岡内 E-mail: tochuorc@wonder.ocn.ne.jp
	高崎シワニ-	福田泰久	027-328-3371 027-328-3372	〒370-0841高崎市栄町22-30高崎サンパレス内 E-mail: sym@po.wind.ne.jp
	碓氷安中	田島隆	027-380-1322 027-380-1323	〒379-0116安中市安中2-2-36三澤ビル2F E-mail: usuan@hkg.odn.ne.jp
	高崎セトナル	横田今朝夫	027-310-7722 027-310-7733	〒370-0824高崎市田町46群馬銀行田町支店内 E-mail: tcrotary@sirius.ocn.ne.jp
	藤岡南	田中悦二郎	0274-22-1230 0274-24-1229	〒375-0024藤岡市藤岡853-1藤岡商工会内 E-mail: cci13@fujioka-cci.or.jp
第4分区	太田	常見隆	0276-46-5400 0276-46-5401	〒373-0851太田市飯田町584群馬銀行太田支店内 E-mail: otarc@minos.ocn.ne.jp
	館林	堀口一宇	0276-72-8181 0276-72-8181	〒374-0024館林市本町1-6-32館林信用金庫本店内 E-mail: zbi12933@wing.zero.ad.jp
	大泉	橋本剛	0276-63-2400 0276-62-7622	〒370-0533邑楽郡大泉町3-25-1三洋ケ'リエイ' サービス 東部支社 E-mail: oizumi.rc@k5.dion.ne.jp
	太田西	井上正	0276-32-5552 0276-32-5552	〒373-0842太田市細谷町1ティアラグリーンパレス内 E-mail: ota-west-rc@xp.wind.jp
	太田南	成塚和頼	0276-46-5904 0276-45-0530	〒373-0853太田市浜町3-6太田商工会義所会館4F E-mail: otasrc@aurora.ocn.ne.jp
	館林西	三田正治	0276-70-2305 0276-70-2305	〒370-0603邑楽郡邑楽町中野1910-1フォトスペース内 E-mail: tw.rotary@deluxe.ocn.ne.jp
	新田	梶塚健一	0276-57-4499 0276-57-4459	〒370-0341新田郡新田町金井607新田町商工会館内 E-mail: nitta-rc@galaxy.ocn.ne.jp
	館林東	前山秀樹	0276-76-7700 0276-76-7701	〒374-0065館林市西本町2-50応声寺内 E-mail: e.rotary@cello.ocn.ne.jp
第5分区	太田中央	大澤宏敬	0276-48-8231 0276-48-8232	〒373-0853太田市浜町63-37 E-mail: otac2021@bbco.ne.jp
	館林ミレニアム	野田真一	0276-71-2222 0276-71-2223	〒374-0029館林市仲町5-38N T T 館林ビル3F E-mail: tmrc@titan.ocn.ne.jp
	渋川	真下信也	0279-23-7766 0279-23-7080	〒377-0013渋川市辰巳町1695-10群馬銀行渋川支店内 E-mail: sibukarc@bay.wind.ne.jp
	沼田	林良昭	0278-23-4511 0278-23-8789	〒378-0053沼田市東原新町1540利根郡信用金庫本店内 E-mail: sasaki@sunfield.ne.jp
	草津	南吉松	0279-88-7535 0279-88-7535	〒377-1711吾妻郡草津町大字草津466上条ペンション E-mail: kusatsu-rc@kl.wind.ne.jp
	水上	鈴木俊夫	0278-72-2611 0278-72-2476	〒379-1611利根郡水上町鹿野沢70-8水上町観光協会内 E-mail:
	中之条	小杉満	0279-75-4418 0279-75-4418	〒377-0424吾妻郡中之条大字中之条町935群馬銀行中之条支店内 E-mail: rotary@kirara.ne.jp
	沼田中央	野中隆夫	0278-22-2100 0278-22-2100	〒378-0045沼田市材木町178-1 E-mail: info@numatachuo-rc.com
	渋川みどり	近内尚志	0279-24-8844 0279-24-9797	〒377-0027渋川市金井1185-13登坂ビル3F E-mail: midorirc@joy.ocn.ne.jp

第2840地区 2002年5月出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	5月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
46	2,463	2,462	-1	61	86.70%

分 区	クラブ名	例会 数	出席率 (%)	会員数				クラブ名	例会 数	出席率 (%)	会員数				
				月初	月末	増減	女性				月初	月末	増減	女性	
第1 分区	前橋	4	94.15	102	103	1	0	高崎東	4	93.85	66	66	0	0	
	前橋西	4	98.26	72	72	0	0	富岡中央	4	90.64	52	52	0	0	
	前橋東	4	89.66	72	72	0	0	高崎シフォニー	4	87.50	55	55	0	3	
	前橋北	3	90.62	65	65	0	2	碓氷安中	4	80.00	31	30	-1	3	
	前橋南	4	81.52	46	45	-1	0	高崎セントラル	4	68.41	42	42	0	0	
	前橋中央	4	79.38	43	43	0	5	藤岡南	4	82.51	48	47	-1	11	
第2 分区	桐生	3	76.59	76	76	0	0	太田	4	82.02	101	103	2	0	
	伊勢崎	4	91.05	74	74	0	0	館林	4	87.73	60	60	0	0	
	桐生南	4	78.41	54	54	0	1	大泉	4	86.07	55	55	0	2	
	群馬境	4	87.70	53	53	0	3	太田西	4	88.95	43	43	0	2	
	桐生西	4	96.50	69	69	0	0	太田南	4	77.94	61	61	0	0	
	伊勢崎中央	4	94.07	62	62	0	0	館林西	4	84.52	23	23	0	0	
	伊勢崎南	4	94.05	42	42	0	2	新田	5	88.70	42	41	-1	0	
	桐生中央	4	85.25	42	43	1	5	館林東	5	73.33	32	32	0	1	
	伊勢崎東	3	89.14	43	43	0	2	太田中央	3	92.79	37	37	0	3	
	桐生赤城	4	97.83	46	47	1	2	館林ミニアム	4	86.95	31	31	0	0	
第3 分区	高崎	3	88.29	81	78	-3	0	第5 分区	渋川	5	92.21	76	77	1	2
	高崎南	4	99.65	74	74	0	3	沼田	4	86.30	59	59	0	0	
	富岡	4	97.86	59	59	0	3	草津	5	79.52	28	28	0	0	
	藤岡	5	91.53	62	62	0	2	水上	4	86.40	11	11	0	0	
	安中	4	77.12	37	37	0	0	中之条	4	87.04	33	33	0	1	
	高崎北	4	78.88	69	69	0	0	沼田中央	4	92.69	65	65	0	0	
	藤岡北	4	72.05	20	20	0	1	渋川みどり	3	82.61	49	49	0	2	
								合計(46クラブ)		86.70	2463	2462	-1	61	

公式訪問・行事予定

7月の公式訪問予定

7月9日 渋川みどり
 7月12日 前橋西
 7月15日 高崎
 7月16日 前橋
 7月23日 沼田
 7月24日 水上
 7月25日 沼田中央
 7月30日 高崎南

7月の行事予定

7月7日 インターアクト合同会議
 7月8日 ガバナー会
 7月28日 第1回諮問委員会、地区資金委員会

7月のロータリー・レートは
 1ドル 126円です